

Title: I'm here!



清水 香奈江
長い長い学生生活最後の一大イベントです。色々な世界を見てみたいです。

● 最近のエントリー

- ☑ [相変わらずの食ブログ](#)
(2011.07.21)
- ☑ [上海ハイペー](#)
(2011.07.21)
- ☑ [成功は本当に働くのか?](#)
(2011.07.20)
- ☑ [さようなら、ネパール。いよいよ最終国、中国へ。](#)
(2011.07.20)

● アーカイブ

- ☑ [2012年03月](#)
- ☑ [2011年11月](#)
- ☑ [2011年10月](#)
- ☑ [2011年09月](#)
- ☑ [2011年08月](#)
- ☑ [2011年07月](#)
- ☑ [2011年06月](#)
- ☑ [2011年05月](#)
- ☑ [2011年04月](#)
- ☑ [2011年03月](#)

● 投稿カレンダー

● カテゴリー一覧

● ブックマーク

学校法人 日本写真芸術専門学校
NIPPON PHOTOGRAPHY INSTITUTE



RSS 2.0

I'm here! > 2011年07月 アーカイブ

11.07.21

相変わらずの食ブログ

[Tweet](#)

[Check](#)

みなさんはお気づきでしょうか、今日私が意図したブログ更新をしたことを。そう、今日は久しぶりにホテルでのんびりと過ごそうと思いきつまでベッドでごろごろしていたのですがさすがに13時を過ぎず睡魔感が芽生え始め、滞っていたブログを更新し始めたのです。そして今日8つめのブログ更新です。

起きてから食べた物といえば、キノコの山（のようなお菓子）と小林さんにももらったタマゴボーロのみ。昨日買ったヨーグルトやフルーツもあったのですがブログ更新に夢中になり気がついたら外は真っ暗。定時連絡を済ませ、ホテルの近くにご飯を食べに行きました。



小さな屋台が出ていたり、果物屋さんがあったり、地元の人で賑わっています。ときどきちらほら観光客らしき白人さんも見かけます。

私が夕食を食べたのは昨日から目をつけていた庶民的なお店。店先でメニューを見ていると、お店のおじさんに手招きされ言われるままに店の中に入りました。



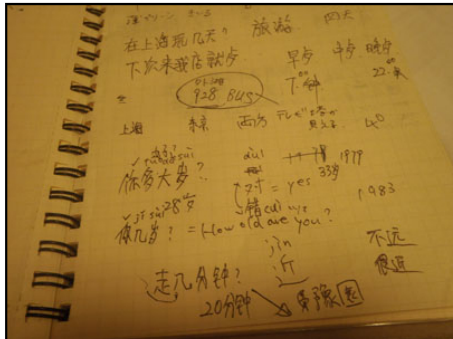


おすすめのという水餃子のスープ。
ぶりぶりしていて美味しかったです。
店のお姉さんがごま油をたらしてくれました。



専門ジモン似のご主人。
お姉さんは恥ずかしがっていたので写真はなし。。

中国は英語が通じない、と聞いていたけれど本当に誰も英語を喋らなくて、私が中国語を分からないという顔をしてもお、中国語で話しかけてきます。そのため、指差し中国語会話がとても役に立っています。食事の後、会話帳を使いながらお姉さんとご主人と会話。お姉さんが何度も発音を教えてくれました。実は私、小学生の時にちょっとだけ中国語を習っていたのです。その頃ジャッキーチェンやキョンシーが大好きで、彼らが言っていることを理解したい！！と思い中国語を習い始めました。もちろんその頃は広東語なんてものがあることは知らず、そのあと映画を見て習った言葉と違うことを知った時のショックと言ったら・・・。今の中国の勢いを考えるとかなり先見の明があったように思うのですが、全く身になっておらず悔やまれます。。そのような過去もあり、ピンイン（日本語でいうふりがなのようなもの）だけは読めるのですが、当時から何度も練習した発音がやっぱり難しくて何度もお姉さんに直されました。たとえば「zhou」は「つー」と「おう」を足したような音の「つおう」。カタカナだけで書かれている会話帳では9割型正しい発音ができないようです。



今日の成果。

随分長いこと中国語を教えてもらっていたらまたお腹が空いたので帰りに屋台で炒飯と羊肉串を買って帰りました。





煙、春雨、ご飯等撮ることができます。私はご飯をチョイス。



炒飯5元。



羊肉串と(多分)牛肉串。2つで10元。割高なのか、値段を間違えたのか・・・。

明日からはいよいよ上海撮影。
しっかり食べてがんばります！

カテゴリー:
post by 清水 希那江 | 日時: 2011.07.21 | [バナーリンク](#) | [コメント\(6\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)

[I'm here!](#) > 2011年07月アーカイブ

上海ペイペー

[Tweet](#)

[Check](#)

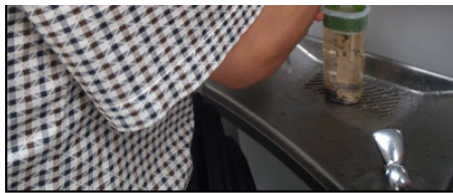
日本を出て一番困ることは、ペットボトル売りしているお茶がどれも甘いこと。
なんで？なんでなの？と納得がいかなかったのですが、
中国に来て、ほうなるほどその理由のひとつが分かった気がしました。

中国には空港やスーパーなどいたるところに浄水器が置いてあり、お湯や水を無料ないしは安価で手に入れることができます。
多くの人がお茶っ葉を入れたマイ水筒を持っていて、この浄水器でお湯を注ぎ足しているのです。

老若男女、とって過言ではないくらい多くの人が持っていました。
だから、きっとお金を出して高いお茶を買う必要がないんでしょうね。
単に甘いものが好き、というもあるでしょうけど、これもひとつの理由なのではないかと思いました。

ということで私も早速水筒を購入。
私が買った物には上にこし器がついています。いろんな人が同じ物を持っていてポピュラーなタイプのようです。





空港で見かけたおじさんも同じ物を持っていました。これは30円ほどで買えます。

飛行機と言えばペットボトルはもちろん日焼け止めなんかも液体ということで手持ちでは持ち込めないですね。
それなのになんと、水筒は持ち込めたんです！
ジャスミン茶をつめた私の水筒。中身を確認されましたが、無事捨てられることなく通過できました！

やってきたのは大都市上海。
上海まではつつみんと引率の富田さんが一緒でした。



機内で寝ていたという富田さん。眠そうです。お疲れさまです！



一人ははしはしのお別れ。一人は稲穂へと向かいました。

エアポートバスに乗り、市内へ。
ビル群が近づいてきました。



バスを降り、地下鉄に乗り換え。
地下鉄の駅を降りてからホテルまで歩きます。
そこには先ほどの近代的な町並みとは違う古い中国の町並みが広がっていました。



夜は近くのスーパーの中にあるファーストフード店へ。
大好きな酸辣湯スープとチャーハンを注文。



スープはどうみても2〜3人用。おまけにチャーハンはスープ付き。
あきらかに計算ミスです。
ネパール以来、2品注文するクセがついてしまっているためどうも食べ過ぎてしまいます。
さすがに少し残してしまいました。
ごめんなさい。
隣に座ってたおばちゃんには「誰が来るの？一人で食べるの？」というような顔で話しかけられました。
(何言ってるか、さっぱり分からず)
よく食べる中国人から見ても、大食漢に見られたのでしょうか。

でも美味しいんですもの、やめられません。

カテゴリ:

post by 清水 香栄江 | 日時: 2011.07.21 | [バーマリンク](#) | [コメント\(4\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

[I'm here!](#) > 2011年07月アーカイブ

11.07.20

■ 気功は本当に効くのか？

[Tweet](#)

[CharL](#)

気功といえば中国。

とうことで、小林さんと気功マッサージに行ってきました。



「如意按摩诊所」はかなり奥まったところにあります。



門からまた奥に奥まった所に入ります。ドキドキしながら中に入ると、おじさんが一人按摩を受けていました。

パンチの効いた髪型のおばちゃんが按摩をしています。私が診察台に行くと別のおばちゃんがやってきました。

「目が疲れやすい」

「目が疲れると頭痛がする」

「トイレが近い」

「肩こりがする」

というのが最近の私の悩み。(多い・・・)

これをあらかじめ中国語に翻訳した紙をおばちゃんに見せます。

そして按摩が始まりました。



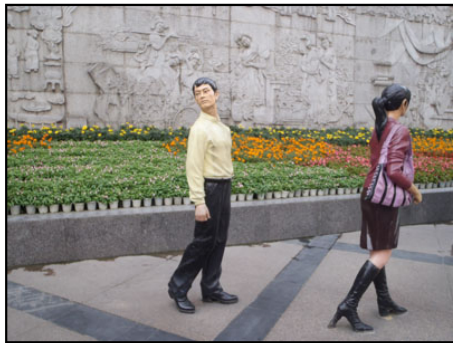


どうやら気を送っているようです。
目を重点的にほぐしたあと、体の方もマッサージしてくれました。
相当疲っていたのがかなり痛い。
痛い！！と言いたくてもなかなか言えず、きつと痛いから効くはずだと言いつつ効かせました。
痛いけどなかなか気持ちいい。でもやっぱり痛い。
そんな状態をすること数十分。マッサージが終了。

効果のほどは・・・

今のところ、目の疲れは出にくくなっています。
が、肩こりは相変わらず。
やっぱり一回では効果は分かりませんね〜。
でもこの診療所、ネットで検索するといろいろなブログで紹介されていて有名みたいです。
気になる方はぜひ一度訪れてみてください。

マッサージの後は繁華街でお買い物。
必要な衣類を買い足しました。
その隣り、妙なマネキンたちを発見。
写真スポットになっていました。
中華系の人は写真を撮ることが大好きみたいで、ポーズもうまい。
かわいく撮っていますね。



人気がない彼。なんだか寂しそう。

夜はみんなで陳麻婆豆腐店へ。
指差し中国語会話をしながら中国語でオーダー。
麻婆豆腐は豆腐が濃厚で豆の味がしっかりして美味しかったです。
ただ、ものすごく辛い。
辛い物好きの小林さんは美味しい美味しいと食べていました。さすがだね！



金の王国、中国。
ネパールで食べ過ぎたので中国では・・・！と思っていたけれど、
全く癒せられる気がしません。

診療所で「食欲を抑えるツボ」を刺激してもらえばよかったです。

カテゴリ:

post by 清水 希聖江 | 日時: 2011.07.20 | [バナーリンク](#) | [コメント\(8\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)

I'm here! > 2011年07月アーカイブ

■ さよなら、イハール。いよいよ最終国、中国へ。

[Tweet](#)

[Check](#)

短くも濃厚なネパールが終わり、いよいよ中国入国です。

引率の丹下さんとはここで別れ。
お疲れさまでした！そしてありがとうございます！



なんか運行されるように写ってしまいましたが決して悪意はないですよ！



カトマンズから中国の成都へはラサを経由します。
この山！ああ、早くラサに行きたい！景色に大興奮の清水です。





成都は思っていたよりもはるかに都会でした。
街もきれいでそんなに臭くない。
ガイドさん曰く、一番住みやすい町と言われているらしいです。
水も豊富でご飯もおいしい。盆地で曇りがちだから色白の人が多く美人の宝庫。
治安も良いそうです。

これから2週間の中国滞在。
期待に胸が膨らみます。

post by 清水 希宗江 | 日時: 2011.07.20 | [バナーリンク](#) | [コメント \(6\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

カテゴリ:

[I'm here!](#) > 2011年07月 アーカイブ

心はこどものように。

[Tweet](#)

[Check](#)

ハイキング2日目。
この日はフォクシンという村に行ってきました。

レイクサイドにある雷から空港の橋を通り、田園を抜け、橋を渡った先に村への入り口があります。





村に行く手前にいた子供たち。



石灰の石で道しるべを書きます。チョークみたいで面白い。

この日は前日と比べると石路ではないので気持ちよく登れました。
とはいえ汗はだらだら。
道の脇には水がちょろちょろと流れている場所もちらほら。
「次に小さな滝があったら、私は絶対に顔を洗います!!」
そう言ってからほどなくして、サツと言う音が聞こえてきました。
「沢ですかね？沢ですかね？どこだろう!!」
わくわくして周りも見回しても沢らしきものは見えず。
案外に見えたものは・・・



「あれ、沢じゃないよ、あそこ雨が降ってるよ」と徳田さん。
私が聞いた音は、沢ではなく雨の音だったのです。

「もうすぐ近づいて来るよ!」と徳田さん。

私はもうすぐ雨に降られるということよりも、初めて見た雨の視目に大興奮。

「うわああずこい！！！！」

そのあと突の定雨に降られ、小屋の軒先に避難。

そこにいたおばあちゃんにフォクシン村はどこかと訪ねたら、おばあちゃんは私たちが歩いて来た道の先を指差しました。
そうです。雨に降られて悪いでもち、通り過ぎてしまったのです。
なんてこと！！！！

でもまあいっかってことで、そのまま下り始めました。



この日の道はずっと景色が開けてて綺麗な棚田を見ることができました。
ダムサイドまでのバスもあったようですが、この足で歩きましょう！ということでひたすら歩き続けました。
今バスに乗ったら負けだ！！なんて。



川を渡り



橋を渡り





ボートに乗り

無事、宿に到着。
約7時間ほど歩きました。疲れたけど、清々しい疲れ。

そして錦めくりの虹！



心はこどものように。
今日はちょっとした冒険気分です。

夜はチキンズラーとオニオンスープ（ガーリックトースト付き）とモモとチキンナゲットを食べました。

胃袋の方も育ち盛りの子供のようでした。

たくさん動いて美味しくごはんが食べられるのはとても幸せなことです。

post by 清水 善宗江 | 日時: 2011.07.20 | [バーマリン](#) | [コメント\(2\)](#) | [トラックバック\(0\)](#)

カテゴリ:

[I'm here!](#) > 2011年07月 アーカイブ

階段が苦手です。

[Tweet](#)

[Check](#)

ネパールはごはんが美味しくすぎて、かなり太りました、こんばんは！清水です。
ネパール到着時、熊倉局長にごちそうしていただいた蕎麦をはじめ（局長、ごちそうさまでした。あと、お土産に梅をくださった吉田さん、ありがとうございます！）
その他の日本食も、他にもいろいろ、外れがないくらい美味しかったです。
特に気に入ったのは、ヒマラヤンキッチンのオーナーが経営するもうひとつのレストラン「Chilly Bar」のチキンズラー。
ソースが濃厚で、野菜もたっぷり、肉もぶりぶりしてとっても美味しいんです。
ボカラに行ったらぜひ食べていただきたいっ。
写真がないって？
すぐに食べちゃうからです！ごめんあそばせ！ほほほ。

ということで。
無事写真展を終え、残された2日間はボカラの自然を満喫するべくハイキングに出掛けました。
レイクサイドで優雅に朝食。





朝食を食べ終え、サランコットを目指し歩き始めました。

ボカラは風があれば快適だけど、標高が高いためとにかく日差しが強い！
サランコットまでの道のりは私が苦手な石段続きで、もう・・・足が上がらない・・・
ちょっと登るだけではあはあせえせえ・・・
体力の衰えを感じたのは言うまでもありません。
しかも暑さのせいか、朝食で食べたオムレツのせいか胸がむかむか・・・
しげみにそっとマーキングをして、ちょっとずっきり。
(ハイキング前の顔はおますめしません!!)

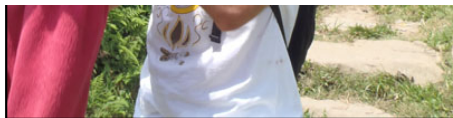


開けた景色のところに出了ました。頂上はまだまだ先です。
でも十分にナイスビュー！
こういう景色が見られるからがんばって登るんですよ～。



パラグライダーの群れ。乗りがかった。でも高すぎます。ああ乗りがかった。
小金持になったら乗ります！





子供と遊ぶ徳田さん。パパのようですね。ほほえましい。



出発から3時間ほど。山頂に到着。
こんなに時間がかかったのは清水の体力がなかったからです。改めて徳田さんの体力に脱帽。
見留めます。



ナイスビュー！！
もう少し晴れていれば、周りの山々がはっきりと見えるそうです。
マチャプチャレ、見たかったな。
このあと、頂上にいたおじさんがきゅうりをくれました。
ほんのり塩けがあってとってもおいしかったです！

この日は定時連絡の日だったのでそそくさと下山。
のぼりは苦手だけど、くだりはすいすい！一気に下山しました。

次日、案の定筋肉痛になりました。

でもやっぱりハイキングは大好きです。

その前に、体力つけなきゃなー。

カテゴリ:

post by 清水 香栄江 | 日時: 2011.07.20 | [バーマリンク](#) | [コメント \(4\)](#) | [トラックバック \(9\)](#)

[I'm here!](#) > 2011年07月 アーカイブ

ネパール備忘録～写真展本番編～

[Tweet](#)

[Check](#)

さぁいよいよ写真展本番。
当初は8日間の予定でしたが、思ったより余裕がありそうだったのでせっかくならと1日増やし、4日間の開催になりました。
ここからは写真展の様子をダイジェストでご覧ください！

最初のお客様はエベレストチルドレンホームの子供たち。





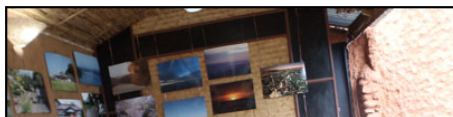
かき氷のサンプル写真に興味津々。



ノートに名前を書いてもらってます。



動画に釘付けの子供たち。

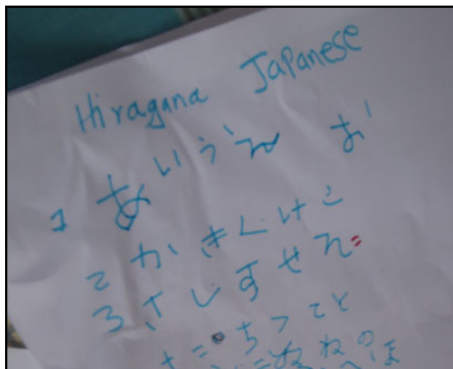


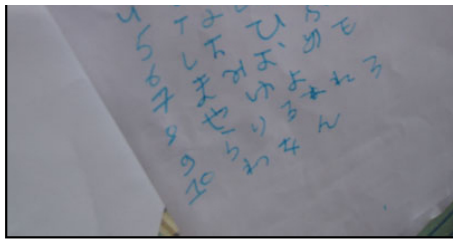


遊び疲れてお昼寝。



見に来てくれた女子高生。若い！可愛い！
「しみずー！」って呼んでくれました。
レスリングが好きらしく、レスリングの鉛筆をくれました。





近所の子たちが遊びにきてくれた時は、即席の日本語講習。
飲み込みが早くて驚きました。



英人ラジオレポーターが取材にきてくれました。
英語でインタビューも受けましたよ。
ちゃんと伝わったかなー??



近所の女の子。とてもしっかりしていました。
お父さんが日本に行きたいけれどなかなかビザがとれないの。と言っていました。
取れたら、みんなで日本に行くそうです。この子も日本語を勉強していきました。大変熱心。
私もネパール語の書き方を教えてもらいました。
「写真展（フォトプロジェクト）」と自分の名前は書けるようになりました！
ネパール語の文字は難しい！！



成り行きで買うはめになったトウモロコシを生だから食べれないので女の子にあげたら、
顔で持って来てくれました！うれしい！



ナマステチルドレンズハウスの方のご好意で横断幕を作ってくださいました。
素敵です！！

今回の写真展では、本当にいろいろな人の協力があって無事に終えることができました。
最後まで一緒にがんばったメンバーはもちろん、多大なるご支援をいただいたナマステチ
ルドレンズハウスの方々、会場であるヒマラヤンキッチンの方々をはじめ私たちが奮立し
ていたヒマラヤンゲストハウスの方々、日本でこれまで準備して来たメンバー池澤さん、
斎藤さんをはじめとする機材室の方々、写真を無事ネパールに発送してくれたNKCの鈴木
さん、その他にも応援してくれたの方々、もちろん見に来てくれたお皆さん全員にもありが
どうを言いたいです。

Thank you from the bottom of my hearts!!!

今回の写真展では本当にいろいろなことを考えさせられ、勉強になりました。
はじめて孤児院という存在を知ることができたこと。
これは原さんが孤児院での写真展を提案してくれなかったら知ることができなかったと思
います。
原さん、ありがとう。
そして、原さんが孤児院というところ取材している書籍も感じることができました。
私たちにとって（特に日本にいると）孤児院とは縁遠い存在で、
このような機会がなければ孤児院のことを知ることなかったと思います。
人懐っこく甘えて来る子供たちを見て、可愛いなぁと思う反面複雑な思いになりました。
いろいろな話を聞き、孤児院を取り巻くネパールの現実も垣間見ることができました。

「知ること」とこれが一番大切なことだと思います。
知らなければ、問題に気付くこともなければ改善することもできません。

美人ラジオレポーターが取材に来た時に、なぜこの写真展を開いたのかと聞かれました。
私は、「子供たちに日本を知ってもらいたい」と答えました。
笑のところ、写真展当日を迎えるまではそういう気持ちも薄かった気がします。
でも、実際に子供たちが初めての景色を見て「これはなに？」と目を輝かせているのを見
て、
自分たちが思う以上にネパールの子供たちは日本のことを知らなくて、
そんな子供たちに知ってもらうことができ本当に嬉しく思いました。
自分たちが知らせたということ以上に、この写真展を通して自分たちが初めて知らされた
ことが多く
この機会に本当に感謝したいと思います。
そして、写真というツールがそれを可能にしたことも誇りに思いたいと思います。

改めて、今回FWに参加できて良かったと思えました。

カテゴリ:

post by 清水 審察江 | 日時: 2011.07.20 | [バーマリンク](#) | [コメント \(4\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

[I'm here!](#) > 2011年07月 アーカイブ

ネパール備忘録～写真展準備編～

[Tweet](#)

[Check](#)

FW種別のグループ写真展。
私たちのグループはボカウで開催しました。

当初は、原さんが取材する予定の孤児院で行う予定でしたが、子供たちの試験の関係もあり
直前で場所を変更せざるを得なくなりました。
その連絡を受けたのがFW出発したあと。
住所と時間を入れたDMも作っていたし、ああどうしよう！！私たちに不安が重なったこと
は言うまでもありません。
しかしながら、孤児院の方々のご協力により孤児院が経営するレストランを紹介してくだ
さり、無事そこで開催することができました。
ナマステチルドレンズハウスの方々、本当にありがとうございます！



ここが開催場所のレストラン。
外からもこの場所を見ることができます。

日本から送ってもらった写真たちの箱を開けるいつぽちゃんとつつみんと高野くん。
完成されたDMとチラシは出発までに間に合わなくて見ていなかったのですが、ときどき・

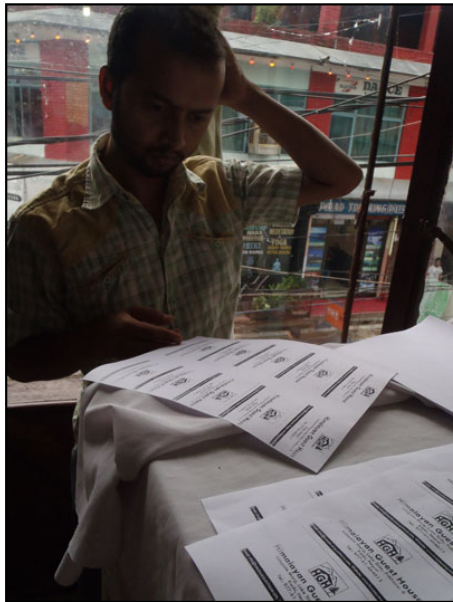


／ すてきなDM！わいわい！ ／

荷物を置いて、早速買い出し。
ナマステルドレンズハウスの方が車を出してくれました。
まだまだボカラの地理が分からなかったのでありがたい限り！

今回の写真展。
開催場所と時間が変更になったため、日本にいる池澤さんをはじめ、斎藤さんや機材室の方々がDMに訂正シールを貼ってくれました。
何百枚も・・・ありがとうございます！
ふふふふ、アゲアゲな気分です。

くわにこつてつてお正座所を書と協心がやんなくお務。
結局、日にちと時間は白いシールの上に書き込み、
開催場所は、ビジネスカードのコピーを貼るということになりました。
近所のコピーやさんにコピーをしに行くことに。



あれ、真っ白い紙が出て来る・・・印刷されない・・・と思ったら原稿を入れていなかったお兄さん。
どじっこさんです。ぶぶ。

今日の作業はこれで終わり。
この日は高野くんの誕生日だったのでみんなでサプライズパーティーをしました。
メンバーからは肌触りがいいTシャツを。
小林さん森上さん私からはデリーで買ったプレスレッド（TAKANONの名前入り！ピンク！）をプレゼントしました。
喜んでくれたかな？
サプライズになっていたのかは謎ですが・・・（笑）。
高野くん、25歳の誕生日おめでとう！



誕生日も寝てさぁゆっくり休むぞ！という分けにもいかず。
夜は手分けしてコピーしたビジネスカードを切ります。残業だ～。



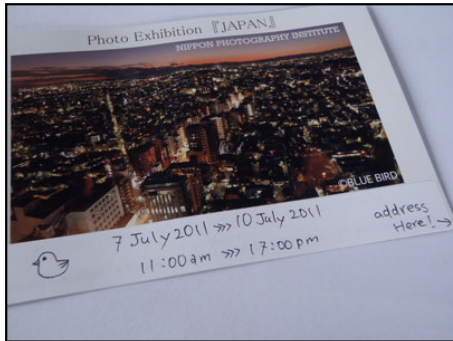


次の日は、池澤さんたちが貼ってくれたシールに日時の書き込みをして、昨日切ったカードを貼付けます。





ゲストハウスのスタッフ、モハンさん。お手伝いしていただきました！

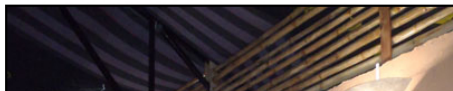


できあがりはこちら。びよびよ。



昼食のスパゲッティ。
すごく美味しい！！このレストハウスのごはんは何でも美味しかったです。

作業2日目。この日もひたすらDMの修正作業でした。大量にあるため思いのほか時間がかかりました。
それが終わってからはいよいよ設営作業。
ガテン系の作業が続いたので写真はなし・・・。
ゲストハウスのスタッフの人がてきばきと動いてくれ、とても助かりました。頼もしかったです。
夜はレストランでウェディングパーティーがあるということで写真撮影を頼まれ、準備と撮影班と二手に分かれて作業を進めます。





撮影の合間にお客さんと話をするつつみん。



立て看板を作ってくれたら、パーティに出席している子供たちが集まってきました。みんなで看板にお絵描き。日本の国旗を描いてくれました！うれしいねえ。

明日からはいよいよ写真展！

次に続く。

post by 清水 香那江 | 日時: 2011.07.20 | [バーマリンク](#) | [コメント \(3\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

カテゴリ:

[I'm here!](#) > 2011年07月アーカイブ

11.07.17

インド、備忘録。その2

[Tweet](#)

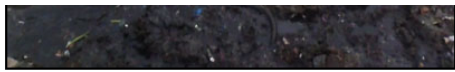
[Check](#)

「ガンジス河でバタフライ」の映画を見てからバラナシに行けばよかった・・・と後悔している清水です。こんばんは！！

インド備忘録その2はバラナシのお話です。

インドといえば聖なる河ガンジス河。死ぬまでに1度は・・・と思っていた場所に行くことができました！！





うしだって沐浴？



明け方のガンジス。この青い光が好きです。



対岸までボートで移動。



学生っぽくボースをとってみたい。



このボート漕ぎのおっちゃんは頭脳派。
雨期に入ったガンジスは流れが早く、まっすぐ進むことができません。
流れの速さを読みながら、漕いで行きます。





ガンジスのガートにはこのように簡単にプリントできるプリントサービスやさんがいっぱいあります。
商業カメラマンも沢山おり、沐浴に来た人たちの写真を撮って売るサービスをしているようです。
プリントサービスを利用してみることに、1枚20〜30ルピーほど。



ボート遊びのおっちゃんに写真をあげたらとても喜んでくれました。
あまり笑わなかった子供も可愛く手を合わせて「ナマステ」と言ってくれました。
普段、人の写真をほとんど撮らない私にとって、人の写真を撮って渡すということは皆無に等しく、
写真で喜んでもらえるという経験もほとんどありませんでした。
今回初めて目の前で写真を渡してリアクションを見ることができ、写真のまた違う楽しさを感じることができた気がします。

バラナシの最終日、おっちゃんが「いつもここにいるから」と言っていた場所に行ってみましたが、
雨期で川の水位が上昇し、その場所はすでに浸水していました。
2度ほどそのおっちゃんのボートを利用したのですが、結局最後にお別れを言うことができず残念です。

基本的に、私は死なない限りは絶対にまた会うことができる。と考えています。
でも、会えることができる期間にはリミットがあるということを感じるので。
いつか、というのは永遠ではないんですね。
もう少しいると駆け足でがんばらなくては、と思いました。

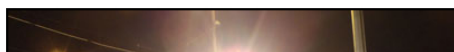
さて、なんだかしみみりモードになりましたね。
嗚呼、センチメンタル。
らしくないですね。
いえいえ。そんなことない。

こぼん。

気を取り直しまして。



ガンジス河のメインガートと言われるマニカルニカーガートで毎晩19時頃からブージャ（礼拝）という儀式をやっているというので行ってきました。
6人の青年が神に祈りを捧げる儀式を行います。





とにかく人が多い。
まるでお祭りのようです。これが毎晩ですからすごい。
私は3日間、プージャに参りました。
1日は後ろから、2日はボートの上から、3日は水位が上がったため、会場が狭くなりかなり近くで見ることができました。



この花に願いを込め、ガンジス河に流します。
私が何を祈ったかって？もちろん、家族の健康です。
と、撮影がうまくいきますように。

そしてこの直後・・・

花が転覆しました。

不吉です。不吉すぎます。

どうか家族になにもありませんように・・・。

写真に関しては・・・
台湾でおみくじを引いた時も、

「願い事はかなわず。目標を変えれば成功する。」

という結果が出ました。

目標・・・(方法、だったかもしれませんが)
はい、その通り。おっしゃる通りです。神様は見抜いていらっしゃる。
が、が、がんばります。なのでどうか・・・転覆なんて不吉なことだけは・・・

転覆した花に私が愕然としてると、近くにいた男の子がろうそくを拾い上げて、また火を打してくれました。

なんていい人・・・
あの方に・・・華あれ。

本当に、感謝りなく、心からそう思いました。
きっと私は今後も人に助けられ、生きて行けるのでしょう。
ありがたいことです。

thank you ...and god bless you..

ところで私が3日間通っていたプージャ。
今日、徳田さんの何気なく話していたら術業の事実が発覚。

「もいながらのプージャは、本当はプーじ

では、私が見ていたのは一体なんだったのでしょうか。

聖なる川ガンジスは私に大きな疑問を残してくれました。
嗚呼、近いうちにまたあなたの元に行きますからね・・・

インド備忘録、終わり。

カテゴリ:

post by 清水 香江 | 日時: 2011.07.17 | [パーマリンク](#) | [コメント\(5\)](#) | [トラックバック\(9\)](#)

[I'm here!](#) > 2011年07月 アーカイブ

インド、備忘録。その1

[Tweet](#)

[Check](#)

ただいまネパールはカトマンズ。明日からいよいよ中国入国です。
お久しぶりです、清水です。
前回の更新から随分と時間が経ってしまいました・・・すみません。
今更ながらインド後半のブログ。駆け足でいってみよー!



デリーから車に揺られること3時間ちょい。
アグラにあるタージマハルを訪問。
タージマハルは言わずと知れた世界遺産です。
純大理石で世界一美しいと言われる聖廟。
シンメトリーに作られた建物は確かに綺麗。
機械もなく人間の力でしか建物を造ることができなかった時代に
これだけのものが建てられたということが驚きです。
一人の王妃のお墓を作るのに22年という歳月と莫大な費用や職人を費やしたというの
がすごいですね。
これは愛情の深さなのか否か。
ちなみに2007年には新・世界七不思議に選出されたいです。





壁面には可愛い花のモチーフ。



美しすぎるため、その反射率もすごいです。まぶしい！
色がついている模様は、着色したのではなく、この色の石を使っているらしいです。



お決まりの。
誰が最初に始めたんでしょうね？



ガイドさんは撮り方を心得てます。
こちらが要求するまでもなく、「はい、ここ立って」と指示されます。





ガイドさんはこんな写真も得意です。
でも特に自分の写真はほしがない私たち。
しかめっ面？いえ、まぶしかったんです。



ところで、
FWIに出発する前、インドのことを知ろうと映画「スラムドッグミリオネア」を見ました。
スラム出身の少年が生きて行くためにいろんな悪いことをします。
その中にタージマハルで観光客の靴を盗んで売り飛ばすというシーンがありました。
そんな映画を見ていたせいで、私はすっかりインドやタージマハルという有名な観光地に対して怖いイメージを持ってしまい、
訪れる前日には、インターネットで「タージマハル 靴 盗難」と検索したほどです。
私の靴はトレッキングシューズなので持ち運ぶにはかなりかさばってしまい写真が撮りにくくなるし、
かといって持ち運びやすいビーチサンダルで行くと足が疲れそうだし・・・
散々迷ったあげく、当日はいつものトレッキングシューズで行きました。
そしたらなんと。



シューズカバーがもらえました！ちなみにこれは外国人向けだそうです。
シューズカバー。確かに検索した時に出て来たワードです。
でも私はそれがただの靴を入れる袋だと思っていたんですね～。
こんなに便利なものがあったとは！
なので、タージマハルはお気に入りの靴を履いていっても大丈夫ですよ！
でも、あまりごつい靴だとがぶせにくいです。
私もはく時に破いてしまいました。ご注意を。





タージマハルのあとはアグラ城を訪問。
ここからタージマハルを見ることができます。



P6230080.psd

観光地に行くと、日本人というだけでなぜか大人気です。
しばしば一緒に写真を撮ってと言われます。
日本人が少数民族を見て「うわぁ！」となる感覚なんじゃないかと
インドが日本から遠い国なのだと実感します。
義上さん、大人気。



基本的に男の人が多いです。
次に多いのが、自分の赤ちゃんを抱いて！というパターン。
何人の赤ちゃんを抱いたか知りません。
赤ちゃんの抱き方が少しうまくない気がします。
しかしながら、赤ちゃんは世界共通で可愛いですね。





その2に続く。

post by 清水 香奈江 | 日時: 2011.07.17 | [ホームリンク](#) | [コメント \(3\)](#) | [トラックバック \(0\)](#)

カテゴリ: